

第4回指導者養成研修会 研修種目担当講師および指導テーマ紹介

☆ 卓球

～生涯スポーツとしての卓球～

コーディネーター：吉田和人（静岡大学）

講師：吉田和人（静岡大学）

山田耕司（名古屋大学および静岡英和学院大学 非常勤講師）

勝 健真（近畿大学および大阪電気通信大学および同志社女子大学 非常勤講師）

講習概要：

基本技術の練習方法，基本技術の習得に適した多球練習方法，いろいろな形態でゲームを楽しむ方法，各自が技術・戦術の課題をみつけ，それを克服していく方法などを教授する．また，卓球の授業計画立案や授業進行に役立つことが多いと思われる内容として，「技術・戦術の基本構造」，「誤解しやすい技術」，「学生による自身の課題発見を促す方法」などについて紹介する．

スケジュール：

3月7日（木）11:00～13:00 勝健真先生，吉田和人

「初心者を対象とした授業展開：ラリーを続けよう」

3月7日（木）14:00～17:00 勝健真，吉田和人

「初心者を対象とした授業展開：強打で決めよう」

3月8日（金）9:00～12:00 山田耕司，吉田和人

「初心者を対象とした授業展開：回転を操作しよう，授業における技術課題別多球練習」

3月8日（金）13:00～16:00 吉田和人，山田耕司

「ゲーム形式の授業展開」

第4回指導者養成研修会 研修種目担当講師および指導テーマ紹介

☆ レクリエーショナル・ニュースポーツ

～楽しめるスポーツに出会っていない学生のための多種目体験～

コーディネーター：師岡文男（上智大学）（公益財団法人 日本レクリエーション協会理事）

講師：師岡文男（上智大学）

講習概要：

スポーツが楽しいと思っただことがない学生や、体力差や年齢差がある人たちとスポーツを一緒に楽しむ方法が分からない学生に、誰でも楽しめるニュースポーツを人数・天候・施設などの条件に応じて1回1種目ずつ紹介し、楽しさと達成感を体験してもらおうと共に、仲間のために努力することで得られる喜びの体験を通して「生きる力」として生涯スポーツを楽しむ知識・技能・自信を身につけてもらうことを目標とする。（上智大学全学共通選択科目の紹介）

スケジュール：

3月7日（木）11:00～13:00 師岡文男先生

「フライングディスク（ドッジビー・ディスクゴルフ）」

3月7日（木）14:00～17:00 師岡文男先生

「フロアーボール、スポーツチャンバラ、シッティングバレーボール（インディアカ）」

3月8日（金）9:00～12:00 師岡文男先生

「ゴールボール、ソフトペタンク、キンボール」

3月8日（金）13:00～16:00 師岡文男先生

「受講生による創作実習」

第4回指導者養成研修会 研修種目担当講師および指導テーマ紹介

☆ ラグビー

ーラグビーに対する関心・意欲を高める授業と教材ー

コーディネーター：嵯峨 寿（筑波大学）

講師：田中充洋（明治大学），山本 巧（防衛大学校），竹村雅裕（筑波大学）

早坂一成（名古屋学院大学），廣瀬勝弘（鹿児島大学），ほか予定

講習概要：

とかく危険と思われ、大学体育においては敬遠されがちなラグビー。しかしあの楕円球を用いて夢中でボールと戯れ、心地よいからだの接触や連帯感を味わえるゲームが色々あります。実技の合間に学生たちにするルールや反則に関する解説におけるポイントはもちろん、ラグビーの歴史や文化的背景にまで及ぶ蘊蓄話（講義素材）も紹介します。2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップを見据え、ラグビーを通じた友好と親善の輪を国内外に大きく広げるきっかけづくりに大学体育がどこまで貢献できるか、ぜひ一緒にスクラムを組んで取り組みましょう！（実技の授業5～10回を想定した講習）

スケジュール：

3月7日（木）11:00～13:00

オリエンテーション（嵯峨寿，山本巧）

講習1．打ち解けよう！おしくら饅頭や鬼ごっこ（ラグビー的遊び）（山本巧，田中充洋）

3月7日（木）14:00～17:00

講習2．トライを決めよう！パス、ラン主体のミニゲームへの展開（田中充洋，竹村雅裕）

講習3．ゴールを決めよう！ドリブルゲームや色々なキックに挑戦（担当未定）

講習4．タックルを決めよう！もちろん真似事。要はトライ阻止の戦術（廣瀬勝弘）

3月8日（金）9:00～12:00

講習5．ボールを奪おう！日常生活では許されない略奪の醍醐味を（早坂一成）

講習6．スクラムを組もう！からだの触れ合いを通して芽生える連帯感（山本巧）

3月8日（金）13:00～16:00

講習7．ゲームを観戦しよう！上で学んだ成果をゲーム観戦で確認する（山本巧）

講習8．ゲームを楽しもう！タグ・ラグビー指導上のポイント（山本巧）

第4回指導者養成研修会 研修種目担当講師および指導テーマ紹介

☆ ダンス

～踊る楽しさと身体表現の面白さを体験させる効果的な授業と教材～

コーディネーター：高橋京子（フェリス女学院大学）

講師：村田芳子（筑波大学）

山崎朱音（静岡大学）

講習概要：

中学校でダンスが必修化となった今年度、大学体育における「ダンス」の意義について考えます。「ダンス」は、教養体育科目の中で大半を占める競技スポーツとは特性が異なり、学生からは敷居が高い、興味はあるけど恥ずかしい、などと言われがちな種目ですが、人間本来の踊りへの欲求や、身体による豊かなコミュニケーションを可能にする運動でもあります。

研修では、教養体育科目の「ダンス」指導者の立場から、半期15回で初心の学生をいかにその気にさせ本気にしていくのか、どんな教材を取り上げ組み立てていくのか、どのように効果的に創作活動に導くのかなどについて、リズム系ダンスと表現を中心に、講義、実技を行います。また、参加者各自が授業における悩みをはじめ、効果的な指導法や教材等を持ち寄り、今後の授業展開のヒントを得る機会にしたいと思います。ダンス未経験の先生方、男性の先生方、ぜひこの機会に「ダンス」を経験してください。

スケジュール：

3月7日（木）11:00～13:00 村田芳子

講義（グループ討論）「踊る楽しさと身体表現の面白さを体験させる授業と教材のコツ」

3月7日（木）14:00～17:00 村田芳子，山崎朱音

実技①「初心者を対象とした導入の展開～体ほぐしからリズムへ～」

3月8日（金）9:00～12:00 村田芳子，山崎朱音

実技②「初心者を対象とした多様な表現の展開～リズムから表現へ～」

3月8日（金）13:00～16:00 村田芳子，山崎朱音

実技③「初心者を対象とした発表・交流の展開～多様な交流の演出～」

第4回指導者養成研修会 講演テーマ紹介

☆講演

テーマ：教養体育の理念と課題

講師：小林勝法（文教大学）（公益社団法人 全国大学体育連合 専務理事）

講演概要：

1948年の学制改革（新制大学発足）に伴って誕生した教養体育の理念は「健康の保持・増進，体力向上，レクリエーション」であった。反対する意見も多い中，大学基準には「学士号を与える資格の最低要求は所定の単位百二十および体育の単位四を四カ年以上に獲得することとする」と定められ，卒業に必要な単位として位置づけられた。しかし，体育必修については各界から疑問視する意見が繰り返し出された。1961年の日本学術会議勧告，1971年の中央教育審議会答申，1981年の日本私立大学連盟報告である。その度に本連合や日本体育学会などから意見書を提出するとともに，教員研修と授業の充実を図り，必修を堅持してきた。本連合は「大学保健体育基本構想」を1991年に改定している。

しかし，同年には大学設置基準大綱化という戦後最大の大学教育の規制緩和が行われ，体育必修の法令上の根拠を失った。この前後から教養体育の理念が再検討され，各種のカリキュラム・モデルが提案された，さらに，近年では「学士力」が文部科学省から示されたり，学位授与方針や教育課程の編成・実施方針に基づく教育が義務づけられるなど教育理念や目標と実践の整合性が強く求められている。その結果，体育側の論理だけではもはや通用しなくなっている。

本講演では，大学体育の理念の変遷を振り返りながら，改めて理念について検討し，授業のあり方について考えたい。そして，カリキュラム編成や授業設計，運営などの課題についても検討したい。